

事前申込制

Live配信

無料

透析関係者に聞いてほしい 肝炎ウイルス陽性者対策 勉強会

＊肝炎医療コーディネーター(肝Co)スキルアップ研修会

日時

2025年 **7月27日(日)**
13:00～14:20 (最長14:30)

配信

Zoom ウェビナー (Live配信)

共催

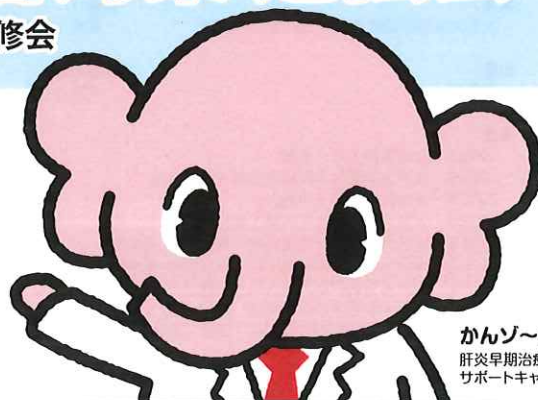
大分県・山梨県・公益社団法人 大分県臨床工学技士会・
一般社団法人 山梨県臨床工学技士会・
大分大学医学部附属病院肝疾患相談センター・
山梨大医学部附属病院肝疾患センター・韮崎市立病院・
厚生労働科学研究費 肝炎等克服政策研究事業
「肝炎ウイルス検査受検率の向上及び受診へ
円滑につなげる方策の確立に資する研究」班

後援

一般社団法人 大分県医師会・一般社団法人 山梨県医師会・
大分人工透析研究会・山梨透析研究会・
国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所 肝炎・免疫研究センター
肝炎情報センター

対象

全国の肝Coや透析関係者・
肝疾患や感染症対策に興味がある方



かんゾーちゃん
肝炎早期治療
サポートキャラクター

URL・QRコードへアクセスし、
名・姓・email address・お勤め先の都道府県・
職種・肝炎医療コーディネーター
取得有無をご入力(必須)のうえ、送信ください。
視聴に必要なアクセスコードが、
入力されたemail addressに配信されます。



<https://us02web.zoom.us/join/9tNf8mKtXkx>

要事前申込 2025年7月27日12時までに視聴登録して下さい。➤

1 進行(開催経緯) 韮崎市立病院 院長 井上 泰輔

挨拶1: 大分県福祉保健部 健康政策・感染症対策課 課長 池邊 淑子

挨拶2: 山梨県福祉保健部 感染症対策センター 感染症対策監 宮澤 健一

2 はじめに: 少しだけ知ってほしい国策としての肝炎対策

国立健康危機管理研究機構 肝炎情報センター 是永 匡紹

3 テーマ: 透析現場からウイルス性肝炎撲滅を!

口演1: 大分県の取り組み

講師: 大分大学医学部附属病院 消化器内科 遠藤 美月

司会: 大分県臨床工学技士会 理事長 小川 一

口演2: 山梨県の取り組み

講師: 医療法人静正会三井クリニック 透析室長 内田 隆央

司会: 山梨大学医学部附属病院 肝疾患センター長 前川 伸哉

4 質疑(時間有の場合)

5 おわりに

厚生労働省 健康・生活衛生局 がん・疾病対策課 肝炎対策推進室 室長補佐 清野 宗一郎



研修会に関する
お問い合わせ

大分県の方: 大分大学医学部附属病院肝疾患相談センター TEL:097-586-5504
山梨県の方: 山梨大学医学部消化器内科(肝疾患センター) TEL:055-273-9584
上記以外の方: 肝炎情報センター 肝疾患研修室

email: kansikkan@oita-u.ac.jp
email: kanshikkan@yamanashi.ac.jp
email: kanzochan2018@gmail.com

講演：透析現場からウイルス性肝炎撲滅へ ～大分県における取り組み～

現職：
大分大学医学部附属病院 消化器内科 講師

趣味：
読書 料理 愛犬と遊ぶこと

出身：
群馬県

座右の銘：
平常心

略歴：
1999年 宮崎医科大学 卒業
1999年 大分大学医学部附属病院第一内科入局
2003年 大分医科大学大学院入学
2008年 大学院医学系研究科博士課程修了
2008年 大分大学医学部附属病院 医員(消化器内科)
2016年 大分大学医学部附属病院 特任助教(医療安全管理部)
2019年 大分大学医学部附属病院 助教(肝疾患相談センター)
2020年 大分大学医学部附属病院 講師(医療安全管理部)
2022年 大分大学医学部附属病院 講師(消化器内科)

資格：
日本肝臓学会：専門医・指導医・西部会評議員
日本消化器病学会：専門医・指導医・評議員
日本内科学会総合内科専門医



大分大学医学部附属病院
消化器内科 講師

遠藤 美月(えんどう みづき)

講演のポイントと参加者へのメッセージ：

WHOは2030年までにウイルス肝炎撲滅を目標に掲げています。この目標達成には、感染リスクの高い集団への積極的なアプローチが不可欠です。透析施設はその代表的な場のひとつです。観血的な処置が多い環境に加え、透析患者さんは一般の方に比べて肝炎ウイルス感染率が高いことが知られています。このような現場において、日々透析医療に携わる臨床工学技士の皆さんが、ウイルス性肝炎について正しい知識と関心をもち、積極的に関与していただくことができれば、肝炎撲滅への大きな力となります。

本講演会では、大分県における透析施設への取り組みや臨床工学技士の皆さんを対象としたウイルス性肝炎に関する意識調査の結果をご紹介します。透析医療に携わるすべての皆さま、そして肝炎医療コーディネーターの皆さまにとって、明日からの行動につながるヒントとなれば幸いです。

講演：透析現場からウイルス性肝炎撲滅へ ～山梨県における透析関連団体での取り組み～

現職：
(医) 静正会 三井クリニック 理事
透析室室長・臨床工学技士長

趣味：
車関連(メンテナンス・洗車～ドライブ) 料理

出身：
福島県

座右の銘：
・I keep working because I learn something new all the time
「新しい学びがあるから仕事を続けている」
・Que sera sera「ケセラセラ：なるようになるさ」

略歴：
1998年 日本工学院専門学校 臨床工学科 卒業
1999年 (医) 良優会 駒沢腎クリニック 臨床工学科
2003年 日産厚生会 玉川病院 臨床工学科
2008年 (医) 静正会 三井クリニック 臨床工学科
2013年 (医) 泉会 東名富士クリニック 透析室室長
2014年 (医) 静正会 三井クリニック 臨床工学G
2020年 (医) 静正会 三井クリニック 理事・現職

資格：
臨床工学技士 透析技術認定士 山梨県肝疾患コーディネーター



(医) 静正会 三井クリニック 理事
透析室室長・臨床工学技士長

内田 隆央(うちだ たかお)

講演のポイントと参加者へのメッセージ：

臨床工学技士(CE: Clinical Engineer)は「いのちのエンジニア」と称され、透析領域、手術室、カテーテル検査室、内視鏡室、医療機器管理部門など様々な領域で従事する。その中で、透析領域に従事するCE人口は非常に多く、体外循環技術などの専門知識は然る事ながら、患者病態や感染症などを学び、業務実践する領域であると考え。一般的に透析部門は多人数を同時に血液を体外循環治療する特殊な環境であり、血液媒介感染対策は必須の知識と技術である。しかしながら、肝炎に対する知見は比較的、曖昧なまま部門運営されている実態があり、透析室における肝炎の集団感染事例の報告もある。血液を取り扱う部門に従事する上で、肝炎に関する正確な知識を身に付け、感染管理のガイドラインをよく理解する事から始めなければ、患者間の集団感染さらには、透析従事者における職業感染の事例を無くす事は出来ないと考え。透析従事者が肝炎とその治療を理解する事で、透析患者のQOL、透析環境の安全性は飛躍的に向上するものと考えています。